

研究に関するお知らせ

「訪問診療における訪問回数に関連する因子の分析」

当院では、以下の研究を実施しています。本研究は、通常の診療で得られた診療情報を用いて行う後ろ向き観察研究です。新たな検査や費用のご負担はありません。

研究対象となる方で、ご自身の情報が研究に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までお申し出ください。

研究課題名	訪問診療における訪問回数に関連する因子の分析
研究機関	医療法人 双樹会 よしき往診クリニック
研究責任者	山田 寿美
研究期間	2025年12月～2026年12月
倫理審査	本研究は医療法人双樹会 倫理審査委員会の承認を受けて実施します（承認番号：SJ-EC-2025-07）

1. 研究の目的

在宅医療における訪問診療の回数には制度上の幅がありますが、その違いが患者さんの生活状況や医療的ニーズとどのように関連しているのかは十分に検討されていません。本研究では、訪問診療回数に関連する要因を明らかにし、今後の適切な訪問回数の検討に役立てることを目的とします。

2. 研究の対象

- 2024年6月に医療法人 双樹会 よしき往診クリニックで訪問診療を受けた患者様
- 75歳未満の方および悪性腫瘍により「在宅がん医療総合診療料」を算定している患者様は除外します

3. 研究に用いる情報

診療録等から、以下の情報を収集して解析します。

- 訪問診療回数（月1回または2回）
- 往診の有無
- 介護度
- 居住形態

- 在宅酸素療法の有無
- 性別
- 入院歴
- 保険区分
- 訪問看護利用の有無
- 対象選定や解析に必要なその他の診療情報（例：年齢、疾患情報など必要最小限の項目）

4. 情報の取得方法および研究の方法

当院に保管されている診療録等から既存の情報を取得し、統計学的手法（ロジスティック回帰分析）を用いて、訪問診療回数（1回または2回）と関連する因子を検討します。

5. 情報の利用範囲・提供

- 利用する者の範囲：医療法人双樹会 よしき往診クリニックの研究責任者および研究分担者
- 他の研究機関への情報提供：なし
- 情報の管理について責任を有する者：医療法人双樹会 よしき往診クリニック 山田寿美

6. 個人情報の取扱い

研究に利用する情報は、個人が特定されないよう適切に管理します。研究結果を学会や論文等で公表する場合にも、個人が特定されることはありません。

7. 研究への利用を希望されない場合

ご自身の情報が本研究に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。可能な範囲で利用停止に対応します。なお、すでに解析が終了している場合や、学会・論文等で公表済みの場合には、当該情報を結果から削除できないことがあります。

8. 問い合わせ先

部署名	医療法人双樹会 よしき往診クリニック
担当者	山田 寿美
電話	075-381-2220
メール	info@yoc.or.jp